

【発行元】

東野建設工業株式会社
〒020-0807
岩手県盛岡市加賀野2-8-15
TEL：019-623-5575
FAX：019-623-5576

月刊「工場・倉庫通信」を発行する「ハコボン建築」は、東野建設工業が運営する工場・倉庫建築ブランドです。工場・倉庫オーナー様の出店計画から操業後のメンテナンスまでトータルサポートをお約束します。東野建設工業の創業87年の実績に甘んじず、お客様のご要望に真摯に向き合い、“低価格・短工期・高品質”な工場・倉庫建築を実現します。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営に関する情報などリクエストも大歓迎です。今後とも、「ハコボン建築」を宜しくお願いいたします！

製造業の2025年の課題と対策

本記事では、製造業の2025年の課題と対策をテーマにご紹介します。

2022年の製造業就業者数は1,044万人、2023年には1,055万人と微増しましたが、中小企業では人手不足感が深刻化しています。

特に若年層の就業者数が減少傾向にあり、高齢化が進んでいる点が課題です。そのほか、製造業が抱えている課題には、以下のようなものが挙げられます。

製造業の抱えている主な経営課題

1) 若年就業者と高齢就業者の推移

高齢就業者数（65歳以上）は増加傾向にあり、2023年には製造業全体の8.3%を占める一方、若者就業者（34歳以下）は減少～横ばいで推移しています。

2) 中小企業の従業員過不足感

中小企業における産業別従業員数過不足DIを見ると、2023年には過去最大の不足感となっています。

3) 海外展開の進展と課題

日系企業（製造業・非製造業）の海外進出は右肩上がりで開催しており、海外市場を獲得し続けることが企業・国双方にとって重要となっています。

4) 新興国の台頭とグローバル競争の激化

新興国の中でも、特に中国、インド、ASEAN諸国などの経済成長が著しく、これらの国々がグローバル市場で存在感を増しています。近年では、技術力向上にも力を入れており、日本企業の技術優位性を脅かす存在になりつつあります。

5) 人件費・設備投資の増加と省力化の推進

人件費や設備投資は、人材不足、技術革新、環境規制などの要因により増加傾向にあります。このため、企業は収益を圧迫されないよう、ロボットやAIによる省力化を推進しています。

このような課題を踏まえて、今後、製造業ではどのような対策が求められるのでしょうか？

製造業界2025年の3つのキーワードとは？

2025年の製造業界は、「デジタル化」「サステナビリティ」「グローバル」という3つのキーワードを中心に、大きな変革期を迎えます。

1) デジタル化の加速

IoTやAI技術の活用、基幹システム（ERP）の導入／活用により、リアルタイムでのデータ分析が可能となり、生産効率が飛躍的に向上します。製造現場の自動化、サプライチェーンの最適化、製品開発の加速など、あらゆる面でデジタル技術が活用され、より効率的で競争力のある製造業へと進化します。

2) サステナビリティの重要性

地球環境への配慮が不可欠となる中、企業は環境負荷を減らすための技術革新に焦点を当てます。再生可能エネルギーの利用やリサイクル材料の採用が広がり、エコ意識がますます高まるでしょう。環境に配慮した製品開発、生産プロセスの改善、廃棄物削減など、持続可能な社会の実現に貢献する取り組みが求められます。

3) グローバル市場の変化

国際競争が激化する中、新興市場の台頭が予測されます。製造業者は柔軟な生産体制を整え、地域ニーズに応じた製品開発を進めることが重要になります。多様な文化、価値観、ニーズに対応できるグローバルな視点を持つことが、海外市場で成功するための必須条件となります。

以上、本記事では、製造業の2025年動向についてお伝えしました。
ぜひ、参考としていただき、高収益な生産体制の構築を進めていただくと幸いです。



工場・倉庫建築に使える
お得な補助金レポートはコチラ



工場・倉庫建築専門店「ハコポン建築」

（お問合せ窓口：牟田、佐久山）

TEL: 019-623-5575 FAX: 019-623-5576

〒020-0807 岩手県盛岡市加賀野2-8-15

※尚、今後このようなご案内が不要な場合は、右の欄にチェックを入れて
019-623-5576迄ご返信をお願い致します。

案内
不要

お問合せは
コチラまで